

二重あやとび

里庄町立里庄東小学校

四年生 渡邊花音

タツ、タツ、タツ、タツ。

ヒュルルン、ヒュルルン。

ヒュルルン、ヒュルルン。

足が地面をたたく音。

なわが風を切る音。

なわとびの音。

二重あやとびの音。

私が、冬休みに立てた目標の一つに、「なわとびで二重あやとびを十回以上とぶ」というのがある。

二学期の最後の週に、二重あやとびができるようになった。

でも、二、三回しかとべなかつたので、冬休みの間に十回以上できるようになって、友だちに追いつきたいと思っていた。

冬休みに入り、毎朝、ご飯を食べた後、なわとびの練習をした。時間がある日は、夕方も練習をした。

なわの長さを調節したり、持ち手の持ちやすい部分はどこか、先を持ったり、根元を持ったり、力を入れたり、力をぬいたりしながらいろいろ試^{ため}してみた。

すると、とびやすいなわの長さが分かり、持ち手の真ん中から先の方を持って、少し力をぬいたじょうたいでとぶと、上手くとべることも分かってきた。他にも、二重あやとびだからといって高くとばずに、前とびをしている時のように、低めにとんだ方がいいことも分かった。

このように、いろいろなことに気を付けながら練習をしていると、最初は二、三回しかとべなかつた二重あやとびが、五回とべるようになった。だんだんと回数がふえてきて、私はうれしかった。「もっと、とべるようになりたい」と思った。

霜^{しも}がおりるような寒い朝は、手がかじかんで、持ち手が持ちにくく、手からはなれてなわが飛んでいったりした。失敗して足に引っかけかかって、なわがすねに当たった時は、寒い日は特に

いたかった。

ある日、持ち手の持ち方に気を付けて、足がつかれないように、軽く、リズムよくとぶことに集中しながら練習をしていると、急になわの力が無くなって、ふにやっとなった。びっくりしてなわを見ると、なわが二つに切れていた。

私は、ちょっとショックだった。せっかくこのなわとびで、いろいろと調節して、二重あやとびがとびやすい感覚がわかってきたのに、それがゼロになったような気がした。

でも、切れたなわは元にはもどらないので、あきらめて、急いで新しいなわとびを買いに行った。

お店でなわとびの売り場に行くと、たくさん種類のなわとびがあった。二重あやとびがとびやすいように重りが付いたり、持ち手がすべらないようにすべり止めが付いていたりするもの。

まよったけれど、結局、切れてしまったなわとびと同じものを買うことにした。なれているなわとびの方が、とびやすいと思ったからだ。

次の日の朝から、新しいなわとびで練習をした。やっぱり最

初は、今までのなわとびと少しちがうような気がしたけど、長さを調節したりしながらとんでいるうちに、だんだんと同じようにとべるようになってきた。コツがつかめてきて、回数も、七回、八回とふえてきた。

とんでいるうちに夢中になって、足が引っかかって、はっとすることがある。そういう時は、けっこうたくさんとべたのに、数えてないことが多い。今、十回以上とべたんじゃないかなと思っ、もう一度とんでみる。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二。やった、十回以上とべた。

やっと、二重あやとびで十回以上とぶことができた。とてもうれしくて、達成感があった。楽しくなって、もっとたくさんとべるように、続けて練習した。

冬休み中に、一番多くとべた回数は、十四回。弟やお母さんにも見てもらった。お母さんが、「たくさんとべている時は、テンポよく、同じリズムでとんでるね。」

と言っていた。

タツ、タツ、タツ、タツ。

ヒュルルルン、ヒュルルルン。

ヒュルルルン、ヒュルルルン。

足が地面をたたく音。

なわが風を切る音。

なわとびの音。

二重あやとびの音。

私はなわとびの音が好き。

私はなわとびが好き。